

町の無料相談

相談種類		日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ
法律相談	弁護士	5/8(火)、28(月)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課 ☎ 313 (要予約)
	行政書士	5/16(水)	10:00 ~ 15:00	役場会議室	役場総務課 ☎ 313
人権・行政相談		5/10(木)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課 ☎ 313
入間西障害者相談支援センター出張相談会		奇数月の第一水曜日	10:00 ~ 12:00	保健センター	役場福祉課 ☎ 116・117 FAX 049(295)2126
成人健康相談		6/7(木)	9:30 ~ 11:30	役場町民ホール	保健センター ☎ 049(294)5511
電話健康相談		平日	9:00 ~ 17:00	保健センター ☎ 049(294)5511	
育児ほっと相談室		6/4(月)	10:00 ~ 11:45	保健センター ☎ 049(294)5511	
もの忘れ相談会		毎月第3木曜日	10:00 ~ 12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎ 049(295)2112 ①126
子育て相談 なんでも話してみよう	6/8(金)	10:00 ~ 11:00	役場相談室	子育て支援センター	
	6/22(金)		子育て支援センター	☎ 049(294)4820	
教育相談		平日	10:00 ~ 16:30	教育センター ☎ 049(295)2525 (電話相談可)	
心配ごと相談		毎週水曜日	10:00 ~ 12:00	社会福祉協議会(ウイズもろやま内) ☎ 049(295)3111	
消費生活相談		毎週火曜日	10:00 ~ 15:00	役場相談室	役場産業振興課 ☎ 214

歴史散歩

第288回

毛呂山の人物

天然痘予防接種の先駆者
安藤文澤

安藤文澤は、わが国の天然痘の種痘(予防接種)の先駆者として名高い医者です。文化4年(1807)、阿諏訪村(現大字阿諏訪)の名主の家に生まれました。16世紀に外国から西洋医学が持ちこまれて以来、文政6年(1823)にドイツ人医師シーボルトが来日するなど、日本で西洋医学が隆盛を迎えていた時期、文澤もまた西洋医学を志し、文政8年(1825)頃、今のときがわ町で開業していた西洋医学の医師小室元長(1764~1854)に入門します。

文澤は元長のもと、研究と治療の実地勉強を積んだ後、江戸の四ツ谷大木戸(現在の東京都新宿区)に医院を開業しました。元長の優秀な弟子だった文澤は、天保元年(1830)、25歳の若さで鳥羽藩主稲垣氏の江戸藩邸詰めの侍医になりました。

享和3年(1803)に「牛痘接種法」(牛の天然痘の菌を人に注射して免疫化させる予防接種)がオランダから伝えられ、文澤はいち早く弘化年間(1844~47)にはその必要性を人々に理解させようと、率先して家族一族に接種を行い、人々が納得するまであきらめません



晩年の安藤文澤



安藤文澤とその家族

でした。後にこの予防接種が天然痘予防の最善策として認められ、安政5年(1858)、幕府による種痘所が開設されます。

江戸で文澤の弟子となった佐藤尚中(現在の順天堂大学医学部附属順天堂医院創立者)など、優れた後継者を育て、明治5年(1872)、文澤は66歳で生涯を終えました。

水道

は、私たちの日常生活のなかでとても身近な存在で、なくてはならない重要なライフラインのひとつです。

各家庭で蛇口をひねればいつでもきれいな水がでてくる環境ですが、その水は


どこからどのようにしてできているのか意外と知らないことが多いのではないのでしょうか。

そこで町では、もっと『水道』のことを知っていただくため隔月でお知らせしていきます。

町の水道事業は、昭和 38 年に創設認可を受け、昭和 40 年 4 月より町の一部に給水を開始しました。その後、数次にわたる変更および事業の拡張を重ね、現在に至っています。

水道事業の歩み

昭和 38 年 12 月 28 日	広域簡易水道事業創設認可 計画給水人口 9,600 人 計画最大給水量 1,435m ³ /日 [金塚浄水場創設]
昭和 40 年 4 月 1 日	給水開始 給水区域：毛呂本郷、小田谷、長瀬、前久保、岩井、葛貫、川角、大谷木の一部、阿諏訪の一部
昭和 43 年度	第 1 期拡張事業 計画給水人口 1 万 3,100 人 計画最大給水量 2,620m ³ /日
昭和 45 年度 ～ 昭和 47 年度	第 2 期拡張事業 給水区域：毛呂山町全域 (権現堂・宿谷の全区域、滝ノ入・阿諏訪・大谷木の各一部区域を除く)、計画給水人口 3 万人、計画最大給水量 9,000m ³ /日 [苔林浄水場創設]
昭和 51 年度 ～ 昭和 53 年度	第 3 期拡張事業 給水区域：毛呂山町全域 (権現堂の全区域、滝ノ入・阿諏訪・大谷木の各一部区域を除く)、計画給水人口 3 万 3,000 人、計画最大給水量 1 万 6,500m ³ /日、[苔林浄水場増設、低区・高区配水池築造]
昭和 55 年 6 月	鎌北簡易水道事業創設 給水区域：大谷木、権現堂の各一部区域、計画給水人口 150 人、計画最大給水量 100m ³ /日
昭和 60 年度 ～ 昭和 63 年度	第 4 期拡張事業 給水区域：毛呂山町全域 (権現堂の全区域、大谷木の一部区域を除く) 計画給水人口 3 万 6,000 人、計画最大給水量 1 万 9,000m ³ /日 [西戸配水池築造]
平成元年度 ～ 平成 8 年度	第 5 期拡張事業 給水区域：毛呂山町全域 (権現堂の全区域、滝ノ入・阿諏訪・大谷木・宿谷の各一部区域を除く) 計画給水人口 4 万 3,200 人、計画最大給水量 2 万 3,000m ³ /日 [泉水受水場築造、目白台配水池築造]
平成 22 年度	第 5 期拡張事業 (1 次変更) 給水区域：毛呂山町全域 (権現堂・滝ノ入・阿諏訪・大谷木・宿谷の各一部区域を除く)、計画給水人口 3 万 9,200 人、計画給水量 1 万 7,200m ³ /日 [給水区域の拡張 (鎌北簡易水道事業を統合)、浄水方法の変更 (紫外線処理施設)]



水道事業を考えよう

安全で頼れる水道をめざして
未来へ引き継ぐ

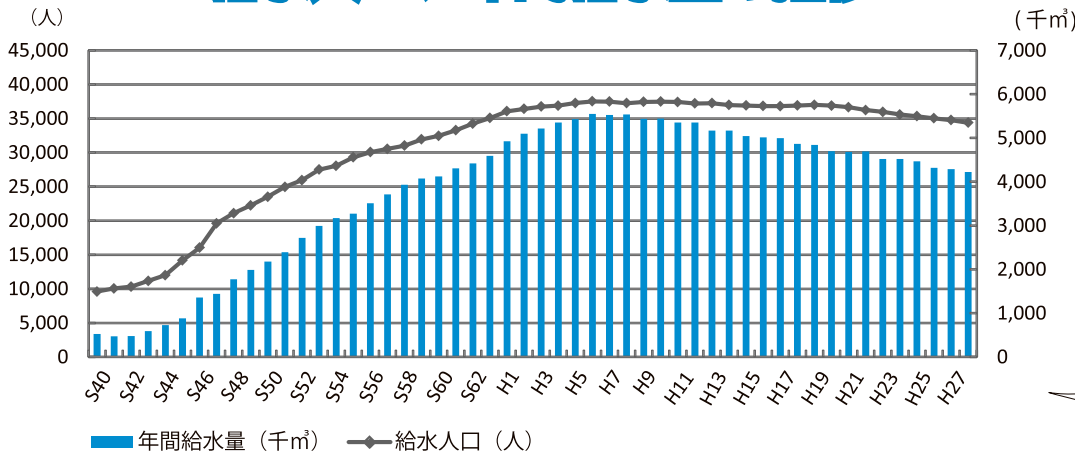
問合せ
役場水道課業務係
☎ 049 (295) 2112 ⑩ 161

第 1 回

第 60 回 「水道週間」
6 月 1 日～ 7 日

「水道水 安全 おいしい 金メダル」を又ローガンに全国的に実施されます。

給水人口、年間給水量の推移



いままでの拡張する水道事業から、維持継続する水道事業となる転換期である今、水道事業について皆さんと考えていきましょう！

平成に入ってから、家庭や工場などにおける節水機器の普及や節水意識の高まりなどにより給水量の伸びは鈍化し平成 6 年をピークとして減少傾向にあります。